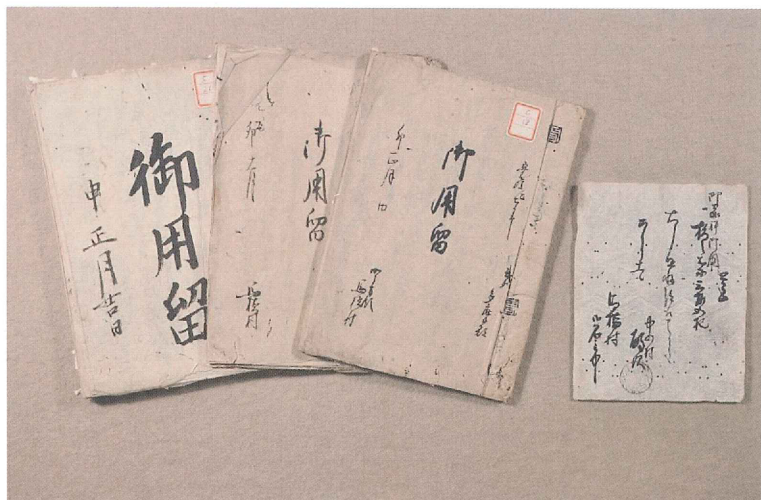


大谷家所藏文書



〔指定年月日〕昭和五七年一月一日  
 〔種別〕有形文化財（古文書）  
 〔名称〕大谷家所藏文書  
 〔点数〕八七五点  
 〔所有者等〕個人  
 〔所在地等〕大宮一―二〇―八（郷土博物館内）

## 大谷家所蔵文書

本文書は大谷文字家に伝わる旧馬橋村の地方文書および関係文書で、慶安元年（一六四八）から昭和十四年（一九三九）に至る約三〇〇年間にわたるものである。

大谷家は江戸時代初期から馬橋村に定住したといわれ、世襲名主として代々名主役を担ってきた家柄で、明治維新後も副戸長や地租改正掛などの役職をつとめている。世襲名主ということもあつてか、大谷家には馬橋村の地方文書がほぼまとまった形で残されてきた。

大谷家の地方文書の中では年貢割付状・年貢皆済目録などの貢租関係の史料に見るべきものが多く残されているほか、御用簿・地租改正関連書類などの多岐にわたる史料が包含されているので、馬橋村をはじめ近隣諸村の研究に裨益するところが大である。なお文書は教育委員会に寄託されている。

この文書は質・量ともに区内有数のもので、杉並地域の近世から近代にいたる歴史・民俗を伝える貴重な史料である。

### 【文化財所在地】

